

経営改善部門（女性活躍）

滋賀県近江八幡市 株式会社イカリファーム

（代表：井狩 ^{いかり} ^{あつし} 篤士 氏）



- 経営規模：254.6ha（大豆 86.9ha、水稻 84.5ha、小麦 83.2ha）

（注）数字は令和4年当時のもの

経営展開のポイント

- ・ 先代は稲作中心の経営であったが、現社長は作目ごとに利益率を算出し、利益率の高い麦や大豆を主力に据えた経営にシフトさせた。毎月1回、社員に提示する米や麦、大豆の品種ごとの損益計算データをもとに、社員全員で収益改善や作付面積配分等を検討し、収量や売上目標を明確化にした。
- ・ 平成25年から生産管理 ICT ツールを導入し、データを活用した栽培管理を行うことで作業の効率化を図るとともに、「カイゼン」を導入し、社員が主体性を持って無駄なく作業を行うような環境づくりを行った。
- ・ 日本産の小麦のニーズが高まると予測し、平成17年産からパン用小麦を試作し、栽培技術の蓄積や乾燥調製施設等の整備を行いながら規模拡大に取り組んできた結果、現在では、学校給食や大手コンビニのパンの原料として採用されるなど、多様な販路を確保した。
- ・ 現社長の妻が主導して人材育成や女性が中心となって加工品の開発やイベントを運営する等、女性が活躍する場を積極的に創出した。